



小川小だより

〈萌芽号〉



【学校教育目標】 優しい子 考える子 元気な子

校長 小池 学

子どもとともに 保護者とともに そして地域とともに みんなで創る学校 小川小

卒業を祝う会 ～感謝とバトン～



6年生の卒業を控え、先月末28日（金）、卒業を祝う会が行われました。限られた時間の中で、後期代表委員、そして、次期リーダー5年生を中心に、前日まで計画的に準備を進めてきている様子が見られました。

そして当日（本番）。

敢えて一言で表現するなら、

「『6年生に感謝の気持ちを伝えたい』そんな想いのいっぱい詰まった会」でした。

きっと6年生の心に、確かな思いが届いたでしょう。



4年生『小川小クイズ王はだれだ！？』



3年生『小川小学校あるある』



1年生『みんなで
トンくるりんをおどろう！』



2年生『スイミー
「ぼくが目になろう」』



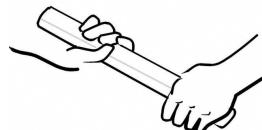
5年生『ちいかわ THE MOVIE
～友情の物語～』

6年生『いつだって大丈夫！のびっ子たち』

(裏面へ)

(表面から)

学校の世界では、3学期を、次の学年の0学期と表現することがあります。



5年生にとってみれば、この3学期は、第6学年0学期。

本校の5年生の子どもたちは、6年生からバトンを受け取る準備をしています。いや、すでに受け取りつつあります。

一つ一つのバトンを確実に受け取って、4月から新たな小川小の歴史を刻んでいきます。

手作りの「和紙コサージュ」を胸に

卒業式まではまだ日のある1月16日。卒業式当日に胸に付けるコサージュの和紙を漉きに、6年生は町内にある和紙体験学習センターを訪れました。センターの方の指導を受けながら、ピンクの染料で染めた和紙を一人一人が漉いてきました。

そして、6年生としては(小学校としては)最後の授業参観の日に、親子で「和紙コサージュ」作りに取り組みました。

和紙作家であり、「和紙コサージュ」の考案者である○○○○様の手ほどきを受けながら、真剣に、時に悪戦苦闘!?しながらも、和気藹々と制作することができました。

小川町の小学校での卒業式で、手作りの「和紙コサージュ」を胸に付け始めるようになったのは2017年の一校からだそうです。それが今では、すべての小学校での卒業式でコサージュを付けるようになったとのこと。

世界に誇る『和紙』をコサージュにして巣立つ卒業式。何と感慨深いものでしょう。

親子揃ってコサージュを胸に。

いったい、どんな景色が見られるのでしょうか。



奉仕作業

先週7日(金)午後、6年生による奉仕作業が行われました。

体育館、図工室、理科室、音楽室、保健室といった特別教室、そして前庭、各階の廊下といったところの清掃や整理整頓に汗を流していました。

6年生の皆さん、ありがとうございました。

日頃の掃除とは違う、何か強い想いのこもった姿を見ました。



中学校教員による授業

こちらも先週のこと。4日(火)に中学校教員による出前授業が6年両クラスにて行われました。小中連携の一環での取組であります。今回は東中学校教諭の○○先生による外国語(英語)の授業が行われました。小学校とはまた違ったテンポの授業に新鮮さを感じているようでした。「中学校の学習に不安を覚えなくていいよ」というメッセージも同時に感じられた授業でした。

